

# 2017年度第7回研修委員会議事録

日 時：11月30日(木) 14:30 ～ 16:30

場 所：成城大学図書館 4階会議室

出席者：研修委員7名

議 長：委員長

配付資料：

資料1 2017年度 研修委員名簿

議 題：

1. 2017年度研修会の振り返りについて

## ①運営面

### ・会場校の協力について

会場校の委員をはじめ明治大学に全面的にご協力頂いた。

### ・名簿について

所属機関順、氏名順の2種類を用意したが、当日は氏名順の名簿を使用した。また、受付で最初に所属機関を名乗る参加者が多く、一時的に混雑したことを考慮すると、会場の広さに応じて受付を名簿の前後2ヶ所に分けたり、所属機関順の名簿を分割して分けたりする方法も検討すべきという意見があった。

### ・講師について

資料配布やマイク対応、ワークショップ時の机の配置など、事前に担当講師と打ち合わせをする必要性を感じたことから、打ち合わせに出席していた担当者、あるいは、講師の条件として、研修会について事前に打ち合わせ可能な方と提示しても良かった。

### ・受付について

開場から受付までの流れに問題はなかったが、研修会の開場時間が図書館の開館時間よりも遅かったことから、開場時間前に図書館を見学する参加者が見受けられたため、会場校スタッフへの周知も配慮すべきだった。

### ・プログラムについて

2日目の終了時刻が30分近く延びたことにより、交通機関の事情から急いで退席する参加者やアンケートが十分に記入できない参加者が見受けられた。

### ・その他

現時点では、研修会は隔年開催のため、研修会までの流れを含めて引き継ぎ資料として、まとめた方が良い。

## ②内容面

### ・接遇について扱うのは良かったが、図書館の事例を中心に扱ってほしかった。

・話し方研究所は、図書館を対象とした研修経験が少ないので、図書館と一般企業の違いや図書館サービスの基本などについても打ち合わせる必要性を感じた。

### ・参加者の中には、「学生はお客様か」という疑問を感じている人もいた。

・現在の枠組みであれば、研修会の準備期間が1年半あるので、内容面も工夫ができる。

- ・ワークショップ形式は継続した方が良い。
- ・日程的には、地域研修のように開催日が1日だと、参加者は消化不良となってしまうと思われるので、2日間が良いという意見があった。

### ③今後の研修会テーマについて

図書館をよく見せる手法や、図書館へ来てもらうための方策が求められているのではないかという意見があったが、具体的な検討については、次期委員に委ねることとした。

## 2. 引継ぎ事項の検討について

2018年度引継ぎ資料の記載項目について検討した。本日の検討を踏まえて事務局で差替えを行い、次期研修委員に資料を配付する予定である。

## 3. その他

現在研修委員会のMLは委員所属大学のメールサーバを利用させてもらっているが、2018年度末で同サーバが利用できなくなる旨報告があった。2018年度末までの1年間は転送設定が利用可能だが、これに伴って次期委員会から新しいサーバにおいて、MLを運用することを確認した。

なお、私大図協のサーバでMLを運用することが可能であるため、具体的な手続きや利用方法について事務局が確認することとした。

委員の異動情報を反映させた研修委員名簿（配布資料1）を承認した。

以上